

秋田画人伝

補遺と訂正のジレンマ

企画展

昭和50年に刊行された井上隆明著『秋田画人伝』について、「画家の部」の補遺と訂正を試みながら、新発見の資料、作品の新解釈を織り交ぜ、秋田の美術史研究の一端をご紹介します。
柿崎一章「七面鳥図」(部分)

令和8年
9月19日(土) ~ 11月29日(日)
秋田県立博物館◎観覧無料
開館時間◎午前9時30分~午後4時30分※11月1日から午後4時閉館
休館日◎月曜日※祝日の場合は次の平日
お問い合わせ◎秋田県立博物館
〒010・0124 秋田市金足鳩崎字後山52 ☎018・873・4121

◎ギャラリートーク
(参加無料・申込不要)
9月19日(土)、10月17日(土)
両日とも午後2時から企画展示室にて。

◎美術品調査研究会
(受講無料・申込不要)
11月22日(日) 午後2時から
学習室にて。館藏品、受講者の持込
資料を解説します。※詳細は裏面参照

そこに謎がある限り

令和8年
9月19日(土) ~ 11月29日(日)
開館時間◎午前9時30分 ~ 午後4時30分
※11月1日から午後4時閉館
休館日◎月曜日
※祝日の場合は次の平日

シン・秋田画・人伝

補遺と訂正の ジレンマ

企画展



昭和50年、秋田の書家と画家の情報を網羅した『秋田書画人伝』が刊行されました。この人物伝は秋田美術のバイブルとして、今も好事家、古美術商、学芸員が重宝しています。とはいえ発刊からすでに半世紀が過ぎ、諸機関の調査研究が進むにつれ、記載内容に誤認・誤記が散見されるようになりました。アートシーンの様変わりにより新たに台頭したアーティストについての加筆とともに、補遺と訂正が望まれています。しかし、著者井上隆明氏が鬼籍に入られ、本人による改訂版の編集は望めなくなりました。

令和3年、当館の収蔵庫に眠る美術品にスポットを当て、企画展「美の國の名残―博物館の審美眼」を開催しました。主に近世美術の資料調査に当たり、改めて『秋田書画人伝』の有用性と改訂の必要性を実感しました。以後、レファレンスや講座などの折々に、秋田の書画人たちの情報を集めるよう努めています。

企画展「シン・秋田画人伝」ではこれまでの調査を基に『秋田書画人伝』の「画家の部」について補遺と訂正を試みました。諸機関の研究者が日常の業務に追われ遅々として進まない調査研究のジレンマを抱えながらも長年積み上げてきた成果とともにご紹介します。展覧会を通して秋田の美の系譜を再認識し、秋田の美を未来へ伝える人々の努力について関心を寄せていただければ幸いです。

そこに美がある限り

上□・井上隆明著『秋田書画人伝』

上○・石黒洞琢「馬図」(部分)

中○左・作者不詳「白緑釉水滴・蓮葉」

中▷・作者不詳「鳥羽図」(部分)

下□・莊司玉苑「象潟古景図」(部分)

◎ギャラリートーク

(参加無料・申込不要)

担当学芸員が展示資料を解説いたします。

9月19日(土)、10月17日(土)

両日とも午後2時から企画展示室にて。

◎美術品調査研究会

(受講無料・申込不要)

担当学芸員と館蔵品、受講者の持込資料を調査しながら、秋田のアートシーンの変遷を振り返ります。聴講のみの方は申込不要です。

美術資料を調べてもらいたい方は事前にお申込みの上(9月19日より受付)、当日ご持参ください。但し、時間制限がありますので、資料の持込は一人1点、先着10名までとします。ご了承ください。

電話、ファックス、メールにてお申込みください。

事前に資料の写真を送っていただければ、調査が捗りますのでご協力ください。「美術品調査研究会」は

11月22日(日)午後2時から4時まで。学習室にて。



秋田県立博物館

〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山 52
TEL 018-873-4121 FAX 018-873-4123
MAIL info@akihaku.jp

